

史料館日誌抄

史料館副館長 道 谷 卓

（一〇一四年四月～一〇二五年三月）

（一〇一四年）

4月4日 岡田茂義氏『深江の心象風景』発刊、財産区の要望を受けホームページでも公表。

4月6日 季節の展示コーナーを「端午の節句」に展示替え

5月11日 関西テレビの取材（大国）

6月8日 女子トイレ改良工事、神戸学院大学（見学者一八名）

兵庫県立大学大学院（見学者一五名）

季節の展示コーナーを「夏の風物詩」に展示替え

ひょうごプレミアム芸術デーに協賛し、田中邦彦

画伯の作品を展示

NHKのペロ・シロタ調査協力

今立吐醉調査協力

季節の展示コーナーを「中秋の名月」に展示替え

第一回魚屋道さんぽ

神戸新聞文化センター歴史ウォーキング（見学者三〇名）

東灘ボランティアガイドの会（見学者一九名）

第26回魚屋道を歩く会

20日 地方史研究協議会の初の兵庫大会が甲南大

学で開かれ、史料館の紹介の展示

企画展示 田中邦彦画伯「東神戸 懐かしの風景

展2」開始（十二月十六日まで）

ラジオ大阪パーソナリティーの山納洋氏の取材協力、二〇二五年三月に『歩いてよみとく 地域経済』として出版

11月16、17日 関西文化の日に協賛

神戸に平和記念館をつくる会

季節の展示コーナーを「正月の風景」に展示替え

（一〇一五年）

1月25日 神戸新聞文化センター歴史ウォーカー（見学者一八名）

2月21日 東灘小学校三年生（見学者一二五名）
季節の展示コーナーを「ひなまつり」に展示替え（見学者九四名）

2月22日 日本女子大の佐々木陸摩氏が深山果氏の調査

2月23日 地方史研究協議会兵庫大会の総括例会を深江会館で開催

3月29日 朝日放送「newsおかえり なんでやねん!」で史料館が紹介される

山田良子／岡山県立記録資料館／永田正和／尾崎伸之
(道谷 卓記)

資料寄贈者ご芳名

（敬称略）一〇一四年四月～一五年三月

◆杉浦昭典名誉館長が死去 杉浦名誉館長が一〇一四年七月二十日、老衰のため死去した。九五歳。一九一八年生まれ、高等商船学校航海科卒業。神戸商船大学名誉教授。専門は帆船航海術史。神戸商船大学在職中から史料館理事を務め、一九九二年の退職後に館長に就任、二〇〇九年まで一七年間にわたりて館長を務めた。この間、一九九五年に阪神・淡路大震災に遭遇、館長として復旧の陣頭に立ち半年後に再開にこぎつけた。二〇一三年に瑞宝中綬章受章。

『生活文化史』 第53号 2025・3・31

編集／大國正美
発行／神戸深江生活文化史料館

〒658-0021 神戸市東灘区深江本町3-5-17
☎ 078-453-4980

<http://fukae-museum.la.coocan.jp/>